

# Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀が通貨スワップによるドル売り介入を見送ったことに加え、良好な米経済指標を背景とした米利上げ観測の高まりからドル買いレアル売りが優勢となり、3.39台前半で取引を終えた。公表された米10月耐久財受注が前月比+4.8%を記録した他、設備投資の先行指標となるコア資本財（航空機を除く非国防資本財）も前月比+0.4%と、いずれも良好な結果が示された。また、FRBが公表したFOMC議事録（11月1-2日開催分）では、「労働市場の環境が目に見えて改善した」と指摘された他、「信頼性を維持するために次回会合で利上げを実施すべきとの議論があった」と記された。多くの当局者が、「データ次第で利上げが比較的早期に適切になる可能性がある」との見解も示されており、12月利上げの確度は相当程度高まっていると言える。レアル相場は中銀による介入が奏功して落ち着きを取り戻しつつあるが、トランプノミクスを背景とした米利上げペースの加速シナリオは依然として有効であり、グローバルなドル買いトレンドも目先継続する可能性が高いことから、年末にかけて緩やかにレアル安が進行する公算が高い。

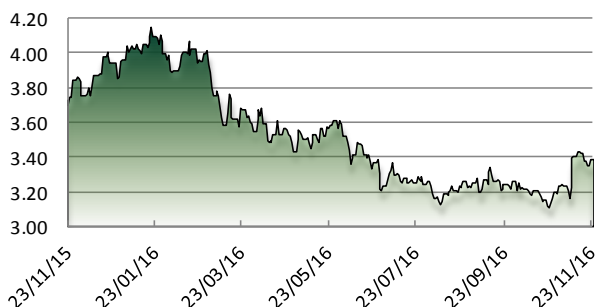
ブラジル地理統計院が公表した11月IPCA-15は、前年比7.64%と、前月の8.27%を下回った。引き続き、来週開催のCOPOMでは25bpsの利下げが見込まれている。

## マーケットデータ

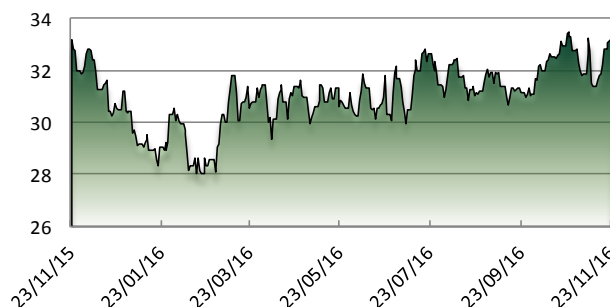
Indicator		Unit	11月22日	11月23日	前日比	10月21日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3.3563	3.3903	+0.0340	3.1563	+0.2340
	対円	JPY	33.11	33.19	+0.08	32.89	+0.30
	対ユーロ	BRL	3.5662	3.5766	+0.0104	3.4344	+0.1422
円	対ドル	JPY	111.14	112.52	+1.3800	103.80	+8.7200
	対ユーロ	JPY	118.10	118.74	+0.64	112.95	+5.79
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	61,954	61,986	+32	64,108	-2,122
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	302.8	306.1	+3.3	260.8	+45.3
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11.87	11.86	-0.01	11.17	+0.69
DI Future Apr17（金利先物）		%	13.28	13.26	-0.02	13.31	-0.05
3 Months US Dollar Libor		%	0.925	0.925	+0.000	0.882	+0.043
CRB Index（国際商品指数）		Index	187.6	187.7	+0.1	189.4	-1.7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。